

にゅうし えいきゅうし ちが 乳歯と永久歯の違いは？

くち なか かんさつ
口の中を観察してみよう！

こ ども



おとな



子どもの歯（乳歯）とおとなの歯（永久歯）が混ざり合っている人が多いと思います。歯のしくみはほとんど同じです。しかし、永久歯は一生使うものなので、乳歯よりも丈夫にできています。永久歯のエナメル質や象牙質は、乳歯の約2倍の厚さがあります。ただし、永久歯も生えただて（2年間くらい）はまだ弱く、むし歯になりやすいので注意が必要です。また、生え変わりの時期はみがきにくく、むし歯になりやすいので、注意しましょう。

ふませんせい はなし
夫馬先生からのお話 テーマ『乳歯が抜けず、生え変わりが遅い…大丈夫？』

歯の生え変わりは正常な歯ならびを獲得するために非常に重要です。ただ個人差がありますので、遅いから悪いとか、早いから良いというわけでもありません。おとなの歯がちゃんと子どもの歯の根を吸収して生え変わっていただければいいのですが、むし歯や、隣のおとなの歯が出てくることで抜けてしまった場合は要注意です。次に生えてくるはずのおとなの歯の場所が狭くなる可能性があるからです。あと、顎が小さな子や、すでに歯ならびが悪いお子さんなどは、おとなの歯が生えてくる場所が十分になくて、なかなか生え変わらない場合もあります。適切な処置によって正常に生え変わりが完了できる場合もありますので、歯医者さんで生え変わりについて相談し診てもらいましょう。かかりつけの歯医者さんを持つことをお勧めします。